

60296

教科書文庫

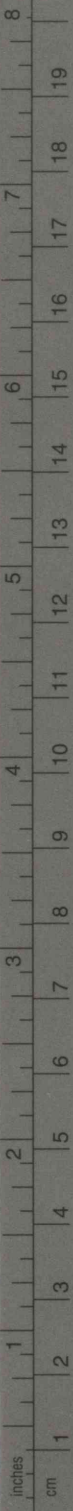
6
720
34-1950
01304 49957

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



10
春陽

小国437

広島大学図書

0130449957

文部省検定教科書

小学書方 四年

教科書文庫

6

720

34-1950

0130449957



東京春陽堂發行

中央図書館

広島大学図書

0130449957



教科書文庫

6

720

34-1950

0130449957



昭和二十五年 日 文部省検定済
小学校国語科用

小学 方
書 年
書 四



広島大学
教育学部図書

東京 春陽堂 発行

贈
寄

広島大学図書

0130449957



ま え が き

一、この本は、皆さんのために、正しいよい字
がかけるように考えてつくったものです。

二、次のことに気をつけて練習しよう。

(1) しせい、えんぴつの持ちかたに気をつ
けましょう。

(2) 上のせつめいをよくよんでから書きま
しょう。

(3) 一度書いたなら、お手本の字とくらべ
てみて、また書きましょう。

(4) 上のせつめいを読んで、やってみたい
ことがあつたら、書いてみましょう。

三、少しずつでも、たびたびけいこすれば、そ
れだけじょうずになります。毎日つづけて
けいこしましょう。

四、字は心の鏡です。字をみればその人がらが
わかるといいます。心をおちつけてけいこ
しましょう。

も く じ

- | | |
|--|--------------|
| 一 四年生になつて
<small>(原稿用紙の書き方)</small> | 六 文字としせい |
| 二 名まえを書く | 七 はいく |
| 三 自治会のきろく | 八 いねを育てて |
| 四 遠足のしらせ | 九 はがきの表がき |
| 五 おぼえがき | 十 運動会のおしらせ |
| 六 ペン字の書きかた | 十一 私たちの町 |
| 七 学級新聞 | 十二 組みあわせ |
| 八 うんどう | 十三 文字のくみたて |
| 九 長い文のかきうつし | 十四 貝づかの見学 |
| 十 栄 養 | 十五 図書館のかしだしぼ |
| 十一 たのしいサッカー | 十六 プログラム |
| 十二 うさぎ日記 | 十七 年がじょう |
| 十三 山 ^は 登 ^り
<small>(絵まきものの書き方)</small> | 十八 カルタ会 |
| 十四 かい書 ^が と行書 ^が | 十九 和歌を書く |
| 十五 統計のかき方 | 二十 四年生の終りに |

一 四年生になって

新しい学年になった。教室もかわり、机もかわった。何もかも、新しい気持だ。

「うれしいなあ。」と思わずいつてしまう。私たちは、下級生を、かわいがってあげよう。

四年生らしい、れいぎをまもろう。

みんな助けあって、よい子どもになろう。

原稿用紙の書き方

- 一、一わくに一字ずつ書く。
- 二、題は少しさげて書く。
- 三、書きはじめの行は一わくさげて書く。
- 四、点や、まるも、わくを一つずつとって書く。
- 五、かっこや、かぎは一わくにに入れる。() 「」

新しい学年、四年生になつて何もかも新しい。

助けあって、四年生らしいれいぎをまもろう。

下級生にしんせつなよい子どもになろう。

教室も机もかわった。

二 名まえを書く

新しい学年になって、新しい本、新しいノートに、学年や名まえを書いておこう。そのほかの持ち物やどうぐにも、みんな名まえを書いておこう。

中原小学校四年一組
秋山春一

名まえは、大きくはつきり書いた。さんすうや、りかのノートは、よこがきで、かきにくかった。けれども、よこせんがあつたので、思ったよりよく書けてうれしかった。

○ めいめい自分の名まえを書きましょう。

中原小学校四年一組
秋山春一

白金小学校四年一組
青山ひさ子

三 自治会のきろく

茂くんの組では、次のようなことを学級自治会で決めました。そしてけいじばんに書きました。自治会できまつたことをノートに書いておきましょう。

学校自治会できまつたこと

- 一、きまりよく
- 一、たすけあう
- 一、^{くわいば}投書箱をつくる
- 一、^{にちち}日直をきめる
- 一、毎週新聞をつくる

相 十人三

談 言口火

箱 十人三

週 日三

聞 言口火

曜 日三

学級自治会をひらいて
みんなで相談しました。

きまりよく、たすけあ
い、日直をきめること。

新聞のかけりをきめ、
毎週つくること。

投書箱をつくること。

四 遠足のしらせ

遠足の相談がまとまったら、
それをけいじしてみよう。

だいいじなことは

1. 日 時。
2. いくところ。
3. 集合、かいさんの時と所。
4. 用意するもの。

などである。休んでいる方には
知らせてあげよう。

遠足のしらせ

月 日 5月5日(木)

場 所 大山のぼり

集 合 校庭 午前8時

かいさん 山田駅 午後4時

う	れ	し	い	遠	足	。	空	が	晴	れ	て	気	も	す
が	す	が	し	い	。	友	だ	ち	と	手	を	組	ん	で
今	歩	く	。	楽	し	い	山	の	ぼ	り	。	遠	く	か
す	む	山	々	、	近	く	に	見	え	る	菜	の	花	。
筆	に	も	こ	と	ば	に	も	つ	く	さ	れ	な	い	。

五 おぼえがき

六月二十五日(木) 国立はくぶつかんに
いつて、つぎのようなことをしらべた。

○日本の大むかしの人々は、どんな家に住
んでいたか。

1. 今ではむかしそのままの家はのこつて
いない。
2. つかつたもの。
(イ) 石の道具。
(ロ) 土のうつわ。
3. ほりだされた場所(貝づかの近く)。
4. たてあなの家。

えんの下がない。地めんに一メートルくら
いのたまごがたのあな。
はしら。木の枝や草。小石。ろ。
こだかい丘の上や山のふもと。
しっけのすくない土地。

大	む	か	し	の	人	々	は	ど	
ん	な	家	に	住	ん	で	い	た	か。
こ	だ	か	い	丘	の	上	山	の	
ふ	も	と	貝	づ	か	の	近	く	
し	っ	け	の	す	く	な	い	な	
が	め	の	よ	い	土	地	に		
た	て	穴	の	家	を	つ	く	つ	た。

六 ペン字の書きかた

次のものを用意する。

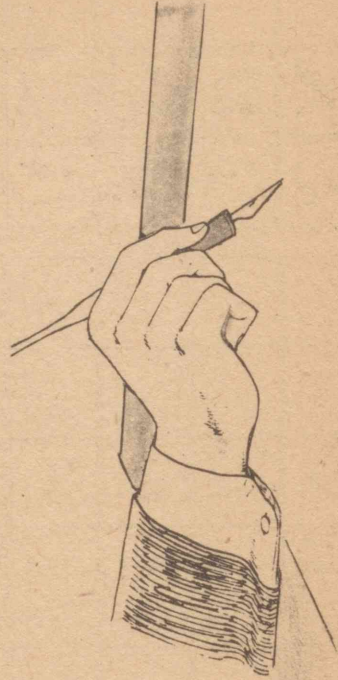
ペン先、ペンじく、

インク、すいとり紙、

ノート

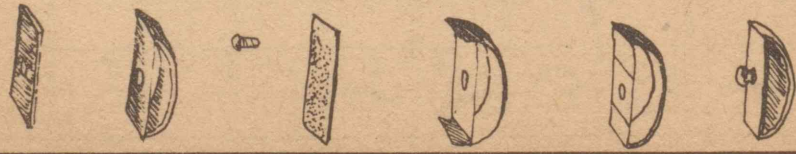
ペンのつかい方

1. えんぴつをもつような
らくな気持でもつ。
2. あまり下をもたない。
3. インクをついたらペン
はみぞの方を下にして
紙の上をなるべくかる
くすすませる。



書いた後

1. インクをすらないようにする。
2. すいとり紙で、そつとおさえて、イン
クをすいとる。



え	ん	ぴ	つ	を	も	つ	よ	う	な
ら	く	な	気	持	で	も	つ	こ	と。

ペ	ン	じ	く	や	手	を	い	つ	も
き	れ	い	に	し	て	お	く	こ	と。

お	手	本	の	よ	う	に	の	び	
の	び	と	じ	よ	う	ず	に	書	く。

イ	ン	ク。	す	い	と	り	紙。
---	---	----	---	---	---	---	----

七学級新聞

- 学級の新聞は、みんなでおむものです。字をはつきりと、書きましょう。
- 見出しは、めだつように、くふうして、書きましょう。
- じゅんばんに、友だちどうしで、やってみましょう。

新学級新聞 なかよし

昭和25.5.30

四年1組 なかよし 新聞班 発行

図書館とく報!!

私たちの図書館、今度新しい本が数百さつはいりました、どれも写真入りのすばらしい本です。よく、りようしてください。

おともだち

おがあさまを
おいす 新井くん
高知県にいかれた新井くん
が、このごろ急にせいが高くなつて、もうおがあまを
おいしたそうです。

写真館 高知県

私たちの図書館に今度
よい本がはいりました。

新しい写真入りのすば
らしいきれいな本です。

高知県の新井くんから
のなつかしいおたより、

よろこんでよみました。

八うんどら

たろうくんや、みつさんは、からだを、じょうぶに、するために、次のようなことを、考えました。
 ぼくたちも、考えてみよう。

- 一 よく日にあたって運動する。
- 一 きれいな空気をすう。
- 一 外から帰った時にはうがいをする。
- 一 食事の前には手をあらう。
- 一 ハンカチーフをいつもきれいに。

空気が、
 運動する、
 世の中の役にたつ子。

む	ね	を	は	っ	て	き	れ	い	な
空	気	を	す	う	。	日	光	に	あ
た	っ	て	運	動	を	す	る	。	外
か	ら	帰	っ	た	時	に	は	う	が
い	を	す	る	。	ハ	ン	カ	チ	ー
フ	を	。	せ	い	け	つ	に	す	る
世	の	中	の	役	に	た	っ	子	。

九 長い文のかきうつし

長い文の書きうつしを、れんしゅう
しましょう。

○長い文を書きうつすときのちゅういを、
くふうしてみましょう。

小鳥の声
朝の早いうちの小鳥の声
は、ことに美しいものです。
まるで、一日の幸福を
言してくれるようです。思
わずおきだして、
「ピオ、いい声だなあ。」
とほめたり、なでてやっ
たり「どこに生まれたい。」と
きいてみたりするのです。

朝 鳥 幸 福 予 言

朝鳥 幸福 予言

朝の早いうちの小鳥
の声は、ことに美しい。

まるで、一日の幸福を
予言してくれるよう。

「いい声だなあ。」と、
じつと耳をすまします。

ツインツイン つつこらばし。

十 栄 養

横がきの書き方

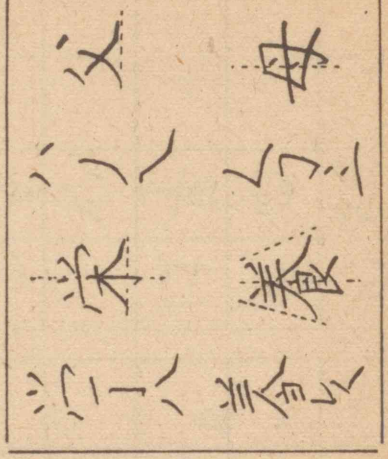
毎日どのくらいのご飯をたべているか、しらべてみましょう。

1. 左から右へ ただ
しく書く。

2. なるべく 下をそろ
えるように書く。

ある日曜日のごん立

材	料	数	量
に し め	さと	いも	100g
	れん	ごん	100g
	ご	ぼう	100g
	にん	じん	100g
	こ	ん ぼ	10g
	水		4dl
	しょう油		0.8dl



しょう油 0.8 dl。 水 4 dl。 ごんぶ
 10g。 にんじん、 ごぼう、 れんごん、
 さと いも 各 100g。 栄 養 た っ ぷ り
 ある。 にこにこ顔の 父 母。 ごん立
 表をかくときのため。

十一 たのしいサッカー

ピー、と用意のふえがなる。サッカーだ。ひろいコートのはしから、はしまで、ボールがとぶ。追ってくる。

顔、顔、足のフォーム、勇ましい、サッカー。手にあせをにぎるようだ。

「いいなあ。」きもちのよいスポーツ。

ああ、空も晴れている。

勇 まいり

用 刀ニ

意 立口心

「ピー。」と用意のふえがなる。サッカーだ。

追ってくる顔、足のフォーム、勇ましい。

みかたも、あいても、手にあせをにぎる。

きもちのよいスポーツ。

十二 うさぎ日記

7月20日 (金) 雨のちくもり 22度

うさぎ小屋のそうじをしました。小屋からだすとき、みんな喜んで、すぐでましたが、1ぴきの白いうさぎと、茶色のうさぎは、おくへはいつてでてこないで、小屋へ頭をいれて、だきあげて、そとへだしました。だすときに、わらを足でけつたりして、あばれました。

記 言 己

長 一 三 一 八

計 言 一

首 一 三 一 三

黒 四 三 一 八

茶 廿 八 一 六

うさぎ日記。3ぴきの毛の長さ。
白は2cm、黒も2cm、茶は1.5cm。
目方を計ってから、そうじをする。
外へだそうとして、首のところを
持ったら、キューと、鳴きました。

十三 山登り

絵まきものの書き方

1. 思い出のある絵を書いたら、その絵のそばにちょうどよくことばを入れること。
2. 絵をこわさないように。
3. 思い出をまとめて、短く書くこと。
4. うたにして、書きこんでもよい。



山登り
夏休みの思い出
四ノ花木 真

青	夏	空
青	夏	空
風	登	春
山	登	春

青い夏空
白いくも
たのしい思い出
山登り
どこからか
小鳥の音がする
お山はまだ
春だ

た	の	し	い	山	登	り	。	青	い
夏	空	、	白	い	く	も	。		
あ	の	山	に	の	ぼ	つ	た	ら	、
す	つ	と	す	る	風	が	あ	ろ	う
遠	く	ま	で	見	え	る	大	き	な
け	し	き	が	ひ	ら	け	て	く	る
小	鳥	の	声	、	お	山	は	春	だ

十四 かい書と行書

今まで私たちが書いてきた字の中には、

かい書 (ただしく、かたく書く)

行書 (すこしりやくしてやわらかに書く)

の書き方があります。行書は早くすらすらと書けて、まちがいもおこらず、世の中にひろく、はやり出したので、行書といわれたといえます。

行書を書くときの注意

- 一、かたくならないように、やわらかにかく。
- 二、てんやかかくを、つつけたり、または、はぶくことがある。
- 三、てんやかかくが つづかないでも、つついている気持に書く。

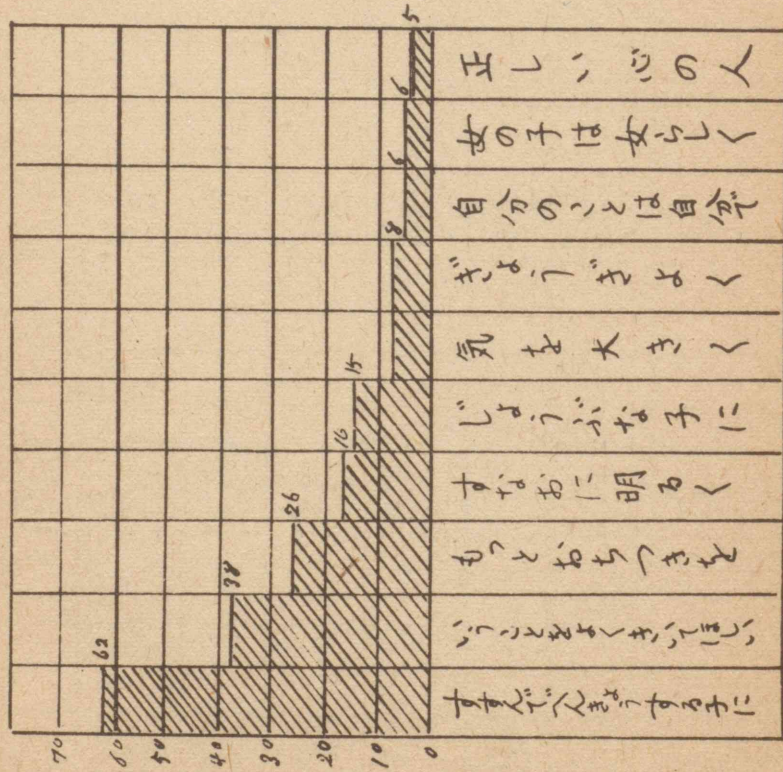
○同じ文字のかい書と行書とをならべて書いて、りようほうを、くらべてみましょう。

失	失	老	老	客	客	察	察	郡	郡
庭	庭	舎	舎	油	油	兄	兄	午	午
心	心	種	種	持	持	組	組	行	行
筆	筆	海	海	語	語	道	道	銀	銀
森	森	母	母	短	短	場	場	合	合
か書	行書	か書	行書	か書	行書	か書	行書	か書	行書

十五 統計のかき方

しげる君の組では、おかあさんたちが、私たちにどんなことをしてほしいとのぞんでいるかをしらべてみました。それをグラフにしてみると、つぎのようです。このひょうは四十人のおかあさんが一人で五つのきぼうをあげたのでした。

【おかあさんのきぼうしらべ】

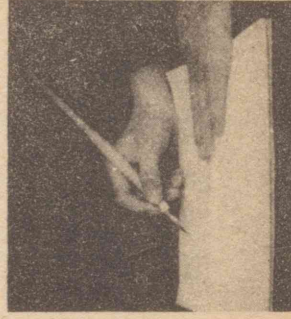


○私たちも、何かしらべてグラフをつくってみましょう。

}																							
	{																						

グラフは正しくて、わりやすいことが第一。

十六 文字としせい



文字を書くときにはどんな心がけがたいせつですか。

○字を書くには、まず心もちが大切です。こころをすましてならいましょう。

○次にはしせいをよくしましょう。胸をはって、手のいちをきめて、目を正しいところにむけましょう。

文字には自分の心がよくあらわれるものです。

字を書くときは、心をすまして習いませう。

筆のあとには、心の鏡。真ごころこめて、よい

しせいで書きませう。

十七はいく

- 一、はいくをつくりましょう。
- 一、五・七・五のちようしで、いくつもつくってみましょう。
- 一、つくれたら、ペンで書いてみましょう。

秋晴れや
たんぼに
すすぎが
ひかっている。

草原に一本
あかし
はじめみじ。



秋晴れやたんぼに
すすぎがひかっている

月の夜をわが家の
ありしあたりまで

草原に一本あかし
はじめみじ

はいく、五、七、五。

十八 いねを育てて

1. いねのかんさつ日記を、うさぎ日記にならって、つけてみよう。
2. 毎日せわをして育ててきたものをよく見て、書いておこう。
3. かわったこと、気がついたことをよくまとめて書こう。
4. 大じなことは、ぬかさずに書こう。

(イ)日時 (ロ)天気 (ハ)温度

(ニ)かわったこと (ホ)手をくわえたこと

種

イニロニニ
ム

農

イニニレム

病

アニフム

害

ウニトコ

品と い病ぶ

種い な気あ

はうごてり

あのがせま

じだ、いし

のそ六のた

ようぴの

いできびい

「すほなも

農。どいち

林い い病

一ねまねで

このしがす

う害た五

」虫。か

十九 はがきの表がき

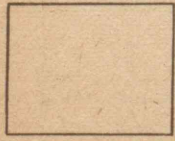
1. はがきの表がきは、だれにもよめるように、はつきり書く。
2. つぎのように、受けとる人の住所に郵便局名をそえて書くと、はやくとどく。
3. さし出す人も、住所と局名を書くことを、わすれないようにする。

郵便はがき

大阪市住吉局区内
天王寺一五。

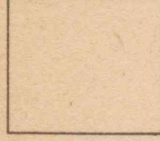
和田洋一様

東京都世田谷局区内
下馬町二ノ五
河原春一



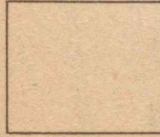
(じぶんの好きな人におしてかきなさい。)

郵便はがき



(上の手本のようにかきなさい。)

郵便はがき



二十 運動会のお知らせ

秋の運動会の通知を出しましょう。

自分で書いて送ると喜ばれるでしょう。

文の中で、しらせなければならない
大じなことは、

- いつ、
- どこで、
- どんなことがあるか、
- ぜひおいでください。

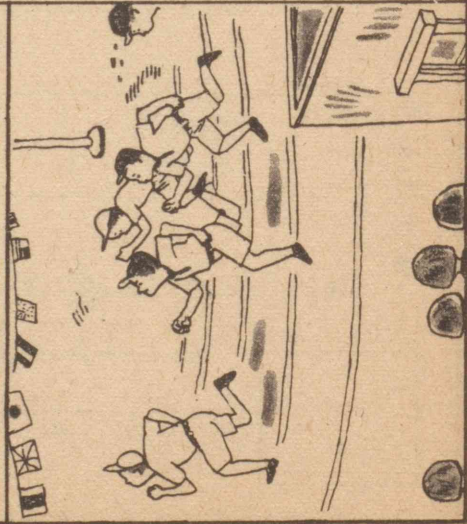
ということであります。

運 三十一

徒 三十一

競 三十一

球 三十一



今月十六日(日)午前九時から私の
 学校のための秋の運動会です私は
 徒競走と球送りとダンスに出ます
 ぜひいらしゃって下さいそして
 おうえんをたのみますみなさんが
 そろってお出で下さることを
 おまちしています

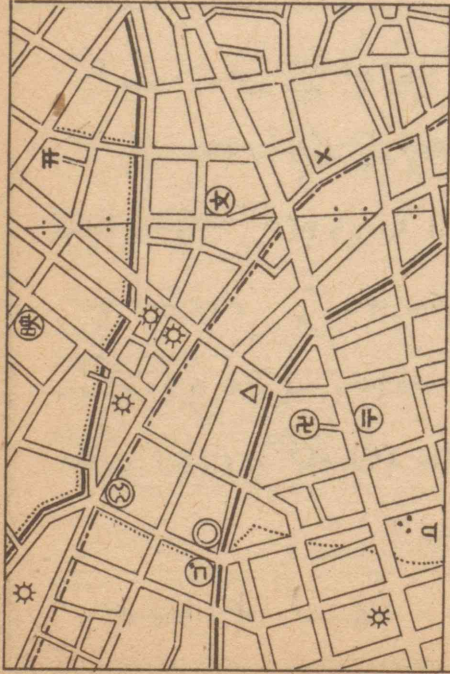
よし子より

二十一 私たちの町

私たちの町に、どんなものがあるか、地図に書いてみよう。

- 区役所
- 公園
- 学校
- 映画館
- 郵便局
- ゴルフ場
- 配給所
- 交番
- 神社
- 工場
- 寺
- 用水
- 銀行

もつともつとしらべてみよう。



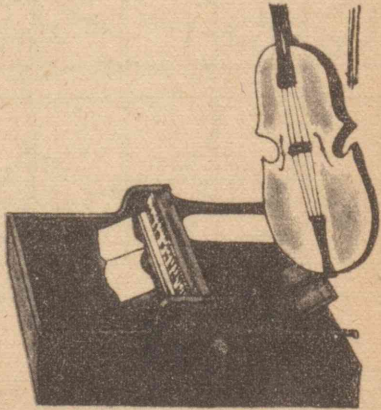
館舎
 図
 給
 路
 便

区	役	所。	学	校。	公	園。
配	給	所。	地	図。	用	水。
ゴ	ル	フ	交	番。	寺	
私	た	ち	の	町	は、	私
た	ち					た
の	手	で	き	づ	き	あ
げ	よ	う。				
便	利	で	あ	か	る	い
住	み					
よ	い	町	に	し	ま	し
よ	う。					

二十二 組みあわせ

オルガンで、一つの音だけひいて、きいても、その音には、ある感じがこもっているものです。この音と、ほかの音とをいっしょにひいてみると、まえとはちがった感じがします。オルガンのほかに、バイオリンとか、フルートとか、ほかの楽器をいっしょにあわせてひいてみたらどうでしょう。いろいろな組みあわせを考えてみましょう。

組感
楽自
器品
三
人
六
品



四色五色と数をますと、
感じがふかまってくる。

楽器音をうまくあわせ
ると、美しさを出す。

月とということばに、水
とということばをそえる。

ちがった感じがおきる。

二十三 文字のくみだて

文字は、てんやかくがより集つてできています。

一をたてかく、一をよこかく、ゝをてんといいます。

へん、かんむり、つくり、かまえ、などの名もあります。左にすこし書いてみましょう。

体	イ	にん	燈	火	ひん	発	ハ	はがら
行	イ	ぎん	銀	金	かねん			
冷	シ	にすい				難	隹	かとり
海	シ	さん	字	ハ	うかん	顔	頁	おが
持	チ	てん	筆	ハ	たかん	利	リ	りとう
林	チ	きん	花	ハ	きかん	道	之	しんぼう
私	シ	のぎん	雪	雨	あめ	開	門	もんかえ
紙	シ	いん	病	疒	やま	国	口	くにがえ

○今までにならった字の中から、同じるいものをあつめて、れんしゅうしてみましょう。

体 作 位 停 候 例 待 後 油 注

満 湯 法 港 演 指 持 打 秋 移

利 橋 横 畑 燈 味 唱 協 情 帳

飲 数 今 舎 登 発 熱 急 寺 宮

安 字 筆 等 草 花 開 間 囟 園

二十四 貝づかの見学

自分たちで、研究したことをまとめ
てみよう。

一、貝づか見学の日時。

一、貝づかのある場所。

一、用意した道具。

一、貝づかでとれたもの。

じょうもん土器

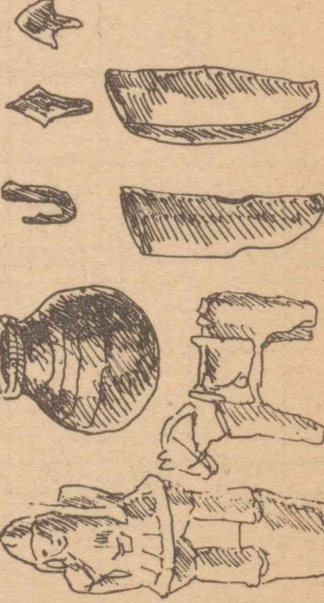
石の矢じり

おもり

せきふ

はにわ

一、見学後のかんそう。



角クワニ

移ニタク

植ニムシ

集ニムシ

みんなで、近所の貝づ
かを見学にいきました。

町角で、シャベルや移
植こてをわたしました。

大むかしの人は、貝な
どをおもにたべていた。

石ふ。じょうもん土器。

二十五 図書のかしだしぼ

明くんの組では、組のそなえつけの本を、かかりが、かしまして、図書のかしだしぼをつくって、一人一人ていねいに

かりた日

本の名

かりた人

かえした日

印

のらんに書きいれて、組の図書を大じにじょうずに利用しています。

わたくしたちも、やってみましょう。

かりた日	本の名	かりた人	かえした日	印
十月一日	心に太陽をもて	川原たけし	十月二日	
十月二日	小公子	中野さだ	十月三日	
十月五日	ぶく寒ん室	小林とむ	十月六日	
十月七日	新しい学校	すがのがず	十月八日	

かりた日	本の名	かりた人	かえした日	印
十月一日	心に太陽をもて	川原たけし	十月二日	
十月二日	小公子	中野さだ	十月三日	
十月五日	ぶく寒ん室	小林とむ	十月六日	
十月七日	新しい学校	すがのがず	十月八日	
十月七日	銀のすす	末田よし	十月八日	
十月九日	火の中へ	やな井すみ	十月十日	
十月九日	冬の朝	きがひでお	十月十日	
十月九日	星の子供	山本しんや	十月十日	

二十六 プログラム

秋子さんの組では、プログラムをく
 んで、たのしみ会をすることにしまし
 た。みんながしたいことのき望を出し
 て、かかりがまとめて、次のようにか
 きました。私たちもそうだんしてやっ
 てみましょう。

たのしみ会
 プログラム

- 一 開会のことば 山本
- 二 うた 一同
- 三 ろくどく 川手
- 四 三人あわせ 新木 村井
- 五 お話 山口
- 六 ばい金のあひ 三井
- 七 ……

芝 川之

居 コノ口

開 川

感 念

三人あわせ。 紙芝居。

うたを一同でうたう。

人形げき。 ピアノ。 お

話。 研究発表。 感想。

開会。 へい会のことば。

たのしみ会のプログラ

ムをくむ時の楽しさ。

二十七年がじょう

新しい年をいわって、先生や、新しい人に、年がじょうを出しましょう。なるべく、ペンで書いてみましょう。

1. ていねいに書く。
2. 字くぼりをかながえて、まとまった上品な感じに書く。

新年おめでとうございませう

新年のおよろこびを申し上げます

新年

おめでとう

ございませう

一月一日

東京都日本橋局区内

日本橋通三の八

上田よし子

二十九 和歌を書く

歌をよむかたはよく和歌を筆で書きます。す
らすらと、たんざく(細長い紙)や、色紙(四角な
紙)に、字のくばり方を考えて書きます。私たち
も和歌をいつもよりは速い書き方で、思いきり
すらすら書いてみましょう。

たんざく (〇はなまえ)

いもうもの小さき歩みいそがせし
ちよ紙かいに行く月夜かな。

たんざく (〇はなまえ)

屋根のゆきかきおとしる少年の
かおのあかさと日のてる中に。

しきし

屋根のゆき
かきおとしる
少年の
かおのあかさと
日のてる中に

屋ニノエ
根ナシシク
少シ

いもうもの小さき歩みいそがせし

ちよ紙かいに行く月夜かな。

屋根のゆきかきおとしる少年の

かおのあかさと日のてる中に。

三十 四年生の終りに

四年生の最後のれんしゅうです。いろいろな字の形を研究して、きれいな字で作文を書いてみましょう。「字のおけいこ」という題でもいいと思います。書けたら、先生に見ていただきましょう。

字のおけいこ

心をおちつけて字のれんしゅうをした後は、何ともいえないよい気持ちです。そして書いた後をみなおしてみると、何となくさわやかな感じがします。おけいこすればするほど上手になるような感じがします。……

心をおちつけて字のれ

んしゅうをした後は、

何ともいえないよい気

持です。そして書いた

後をみなおしてみると、

何となくさわやかな、

あかるい感じがします。

小国 437

10 春陽

昭和二十五年 月 日 印刷
昭和二十五年 月 日 発行

小学 書き方 (四年)

総頁 六四頁
定價 四円

APPROVED BY MINISTRY
OF EDUCATION
(DATE)

代著者 西 脇 吳 石

東京都中央区日本橋通三丁目八番地

発行者 株式会社 春 陽 堂

代表者 和田 欣 之 介

東京都板橋区志村町五番地

印刷者 凸版印刷株式会社

代表者 原 喜 平

東京都中央区日本橋通三丁目八番地

発行所 株式会社 春 陽 堂

電話日本橋〇〇五二・四八四八
振替東京一六一七番

本書の著作になされた人

東京学芸大学教官	西	脇	吳	石
同	栗	原	静	一
同	夔	場	一	雄
同	木	島		孝
同	武	藤	重	治
同	龜	岬	嘉	子
表紙	倉	田	三	郎
挿絵	石	井	政	明
	野	政	明	雄

広島大学図書

0130449957

